# 第75回長崎大学 FD 実施報告書

平成２４年８月７日 提出

| | |
|---|---|
| 1. 題目 | 新しい教養教育における初習外国語(ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語)の役割 |
| 2. 開催日時・場所 | 日時：平成２４年１月２８日（土）14：00 ～17：00<br>平成２４年８月７日（火）13：00 ～16：00<br>場所：長崎大学全学教育棟（新々館）322 番教室　他 |
| 3. 主催 | 教養教育の初習外国語を担当するすべての教員 |
| 4. 参加者数<br>(別紙に参加者名簿を添付すること) | １月２８日（土）　１９名<br>８月７日（火）　３名 |
| 5. 長崎大学 FD に関する指針第二項への該当について<br>【複数選択可】 | 該当するものに○を記入すること<br>[　○　] (1)　教員の教育活動に関するもの<br>[　○　] (2)　カリキュラムの改善に関するもの<br>[　　] (3)　教育の組織的改善に関するもの<br>[　○　] (4)　その他教育改善に関するもの |
| 6. 今回の FD の主旨・意義<br>(5.に関連した形で記述すること) | 本学では，平成２４年度から教養教育（全学教育）を内容，方法とも大きく改革します。そして語学教育の充実のため，初習外国語（フランス語，中国語，韓国語）の上級クラスが選択科目として新たに設置されます。そのため，初習外国語担当の全教員が，本学生の初習外国語に対する要望や各学部の意向を把握し，確固とした共通認識を持ち，適切な指導を行うことが必要となります。<br>具体的に今回の FD は前半と後半に分かれます。前半では委員長が全教員に対して本学の初習外国語教育改革の方向性や成績の平準化という目的を明確に伝えます。そのためには，シラバスに各初習外国語の共通の到達目標及び評価基準を明示し，実施することが必須となります。後半では，各言語の担当教員に分かれて，教員間の指導内容及び評価で生じていた不均衡を是正するために，共通指導項目の周知徹底化を図り，「学生による授業評価」等を用いて各外国語に適した授業内容の改善を話し合います。また，CALL 教室の使用法，アクティブラーニングの導入等についても説明します。 |
| 7. プログラム構成<br>[題目・担当講師]<br>(当日使用した資料等を添付すること) | １．新しい教養教育における初習外国語について（橋本委員長）<br>２．成績の平準化について　（橋本委員長）<br>３．統一試験について　（橋本委員長）<br>４．自学自習の促進について　（未定）<br>５．共通指導項目と各言語指導内容について　（橋本委員長，楊，大橋各委員）<br>６．シラバスについて　（橋本委員長，楊，大橋各委員）<br>司会進行　（大橋　絵理） |

| | |
|---|---|
| 8. 実施したFDの成果等<br>(アンケート等の資料がある場合は添付すること) | 新しい教養教育における初習外国語についての教育改革の方向性や成績の平準化という目的を明確に示し，共通認識を持つことが出来た。<br>中国語分科会では、(1)来年度から中国語Ⅰ・Ⅱが統一教科書を使うので、統一シラバスに従って授業すると各教員にお願いした。続いて、来年度統一試験成績が全体成績の占める割合を増やすこと（30%→50%）が決まった。そして再来年、２年生も統一教科書を使い、統一試験の実施も決まった。(2)成績評価の平準化について話し合った結果、クラスごとの成績分布の基準を決める必要があるので、来年度から「ＡＡ」の割合をクラスごとに20%超えないようにしてもらうことにした（超える場合、理由書を提出すること）。(3) 授業時間外の学習を促す措置について、これから WEB での練習問題を作成すると同時に各教員が授業後、学生に課題を出して、次の授業前に必ず小テストをしてもらうことにした。(4)学生の出席状況を把握して、出席率が期末成績評価基準の一つとなることをも各教員に周知ができ，中国語担当教員との共通認識を持てたことにより，今後の授業実施に大いに成果が見込まれる。<br>フランス語分科会では、最初に来年度どの教科書を使用するか、シラバスをどのように書くかを話しあいました。そして統一試験及び評価の平準化のために、来年度は私が作った小テストをすべて非常勤の先生にもしてもらうことにしました。また、授業の進行状況、問題点を確認するために１か月に１回私の研究室に来て話し合うことを決めました。他には自学自習の促進方法や、今年度の後期の試験問題についても協議し，共通認識を持つことにより今後の授業実施に大いに成果が見込まれる。<br>ドイツ語・韓国語分科会では、大学の方針（FD受講の義務化、授業評価結果の学外公開等）に関する説明があった。そして成績の平準化、統一試験の実施に向けて話し合いを進めてほしいとの依頼があった。参加者からは、クラス規模、TAないしクラス・アシスタント、上級クラスについて質問が出され、現状や今後の見通しについて委員長から説明がなされ，共通認識を持つことにより今後の授業実施に大いに成果が見込まれる。 |
| 9. 実施代表者の連絡先 | 氏名：初習外国語小委員会委員長　　橋本　健夫<br>部局：大学教育機能開発センター<br>e-mail：　hashimoto @nagasaki-u.ac.jp　　内線：2077 |
| 10. 申請者の連絡先 | 氏名：初習外国語小委員会副委員長　　楊　暁安<br>部局：言語教育研究センター<br>e-mail：xiaoan@nagasaki-u.ac.jp　　内線：2166 |